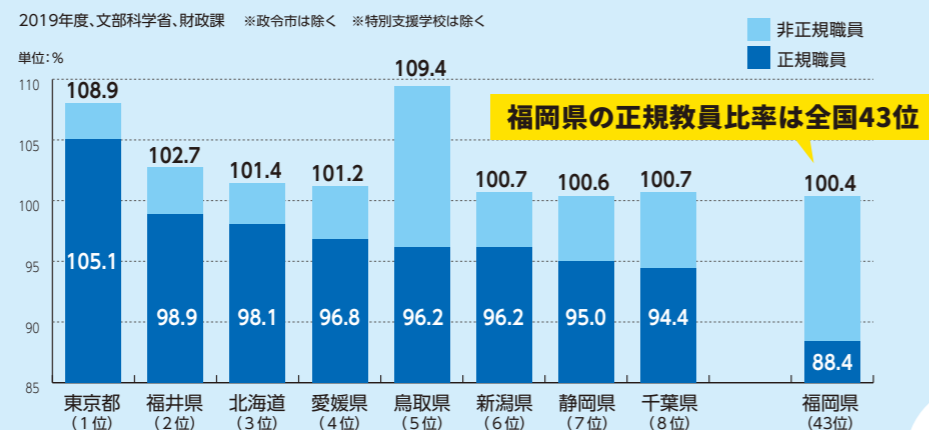


福岡県は今も先生が足りない

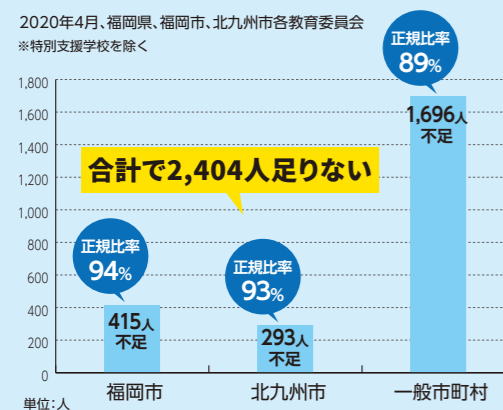
福岡県は、この3年間、毎年、小・中・高・特別支援学校で1,200人を超える新規採用を行ってきました。福岡県の非正規率が全国ワースト1位ともっとも低かったためです。今、正規率は少し上がりましたが、それでも、2019年の文部科学省の調査では、小中学校の正規率は88.4%で全国43位です（政令市を除く）。

公立小・中学校の正規教員比率、正規・非正規合計の定数比率（全国順位）

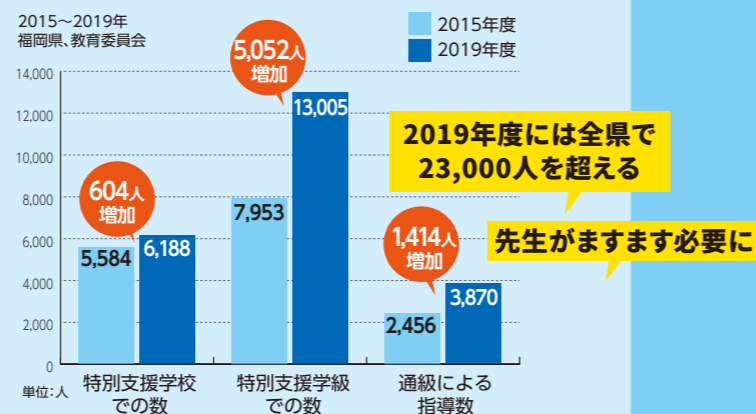


DATA

正規教員（常勤）の定数に対する不足数



特別支援教育で学ぶ児童生徒が急増



ポストコロナへ。教員10万人増など、教育条件の抜本的整備を

日本共産党は、6月2日、「学校再開にあたっての緊急提言」を発表しました。ぜひともお読み下さい。

▶ https://www.jcp.or.jp/web_policy/2020/06/post-840.html



県議会議員
高瀬 菜穂子



県議会議員
立川 由美

みなさんのご意見、ご要望をおよせください

TEL 092-643-3809 FAX 092-641-5160
fukuokakengidan@yahoo.co.jp

日本共産党福岡県議団 福岡市博多区東公園7-7 県議会棟3階

福岡県議会ニュース 発行日 2020年10月



労働時間の短縮は 教員を増やし クラスの人数を 減らしてこそ



2019年12月、教職員の勤務時間を「1年単位の変形労働時間制」にできる法「改正」が行われました。

日本共産党福岡県議団（高瀬菜穂子・立川由美）は、同年12月議会の一般質問と2020年2月の予算特別委員会で、この制度が学校現場に重大な影響をもたらすと問題点を指摘しました。この質疑の内容をご報告します。

日本共産党福岡県議団

「学校現場への変形労働時間制」質疑 県議会



高瀬県議

制度の概要は？



教育委員会

1年間平均で1週間の労働時間が40時間を超えないことを条件に、業務の繁忙（急がしい時と暇な時）に応じて、労働時間を配分する制度。教員の個々の事情をふまえての選択制とする。



高瀬県議

選択的な導入とは？



教育委員会

市町村・県全体画一的、一律な導入でなく、国の要件を満たす場合に（個々人の）選択的な導入を可能とするもの。



管理職と事務職の負担増

完全選択制であることから、管理職は学校が始まる前の3月に、全職員から子育て・介護などの状況を聞き取り、4～5月のシフト表を決めることとなります。管理職や事務職員の負担の増大が危惧されます。また一度決めたシフト表の変更は原則としてできません。

